

① 整備計画全般に関するご意見

【平成20年2月6日現在】

多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	都市型の生活を支える安全安心が第一。洪水・高潮・津波への安全性 異常気象に対応した治水対策 手を入れすぎない自然の力を活かした河川 用・強・美のバランスを	河川整備計画原案(案)において、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	木曾川、長良川、揖斐川それぞれ語をかえて、目標設定しているが、全て共通で良い。	木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が再度発生しても、安全に流下させることを目標としております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	きれいな河ですね。	貴重なご意見ありがとうございます。今後もきれいな川を守って行けるよう河川整備や維持管理をしてまいります。	第1章第2節 河川整備の現状と課題
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	長良川は木曾三川の中で水質、水量環境のバランスの取れた川であり活用も多く人たちが昔から参加し又は参加しやすい流水を持って現在に来ている、未来はどうでしょうか、これからの河川事業が決めるのである。	貴重なご意見ありがとうございます。河川整備にあたっては、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和されながら達成されるよう努めるとともに、今後も引き続き、適正な河川管理に努めます。	第1章 流域及び河川の現状と課題
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	(4)河川環境の整備 この川は、レクリエーション、観光等も含くみ 多くの人達が見る、遊ぶ川として、又中流部は秋にタカ類の渡りがあり、自然環境にも重要な位置付け場所である。 (1)千鳥橋上流部左岸に毎年秋～冬にかけオシドリ約200～300羽飛来する (2)56k地点上流部右岸は昔から魚類(アユも含む)さんらん場である (3)猛きん類、里山生息動物の餌取り場である (4)観光を目的とした鵜飼ステージである	貴重なご意見ありがとうございます。河川整備にあたっては、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和されながら達成されるよう努めるとともに、今後も引き続き、適正な河川管理に努めます。	第1章 流域及び河川の現状と課題
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	5.12安八水害が起きて30年。災害は忘れなくてもやってくる教訓を認識したい。	貴重なご意見ありがとうございます。治水の沿革については、右欄記載箇所に記載しております。	第1章第1節第2項 治水の沿革
第1回ふれあい懇談会	扶桑会場	木曾川の洪水に対する安全度はどのくらい高いのですか。	国が管理している木曾川の堤防総延長は162.7kmあります。その内、完成堤防延長は90.2kmです。整備が不必要な延長を除くと約40%が完成になっていません。	第1章第2節 河川整備の現状と課題
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	その目標に対する現在の状況等について教えて欲しい。	本川の現況の流下能力等については、河川整備計画原案(案)の右欄記載箇所に記載しています。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
第1回ふれあい懇談会	扶桑会場	現状でほぼ十分ではと感じています。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
第1回ふれあい懇談会	扶桑会場	扶桑町近辺の木曾川堤防の洪水に対する安全性について説明を聞かせていただきたい。	河川整備計画原案(案)目標流量に対しての、堤防断面は確保されています。現況の流下能力については、河川整備計画原案(案)に示しております。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	長島会場	集中豪雨、台風などの増水に対して堤防の安全性を具体的に数値で知りたい。	木曾三川の堤防、護岸等の整備率は、河川整備計画原案(案)の「第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題」に具体的な数値として記載されています。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	流量基準点長良川忠節付近のこと、平成16年10月の洪水時には長良川春近地内では1mm程度オーバーするかってない流量であった、しかし忠節下流は堤防より1m余の余裕であったと聞いている、何故これだけの水位の差がでるのか。藍川橋付近での流量は現状で7,300確保できているのでしょうか。	いただいたご意見で「何故これだけの水位の差がでるのか」ですが、平成16年10月の洪水は、戦後最大の流量を観測した洪水です。現在の堤防は、対象とする流量によって堤防の大きさや余裕高等が違います。よって、春近付近の武儀川・忠節下流の長良川堤防の余裕高等が異なっていることや河川の改修状況等からこのような現象となったと考えられます。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
アンケート	-	これ以上ダムはいらない。	本計画の中では、新規着手のダム建設は予定しておりません。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	長良川と岐阜市内の伏流水の関係を究めよ。	岐阜市の伏流水の状況については把握しておりませんが、今後も、河川管理に必要な水文データの蓄積に努めてまいります。	第1章第2節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能に関する現状と課題
第1回ふれあい懇談会	長島会場	長良川へ流入する支川や農業用水の取り入れ口などの状況が知りたい。	木曾川水系河川整備基本方針本文の「正常流量」の項をご覧ください。	第1章第2節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能に関する現状と課題
第1回ふれあい懇談会	木曾岬会場	農業用水の利用により農業運営の安全・安定を確保してほしい。	木曾川水系水資源開発基本計画(フルプラン)では、需要と供給のバランスがとれております。	第1章第2節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能に関する現状と課題

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	本来、川は自然のままだった。景色の四季折々様々に変化し、その風情が心地よかった。人類はじめ魚や虫たち、さらには草木にも優しくなったのに……。でもまさに人間社会が自然破壊を平気でやっている。山を削りゴルフ場にしたり、道路をアスファルト化し、国・県道ならやむおえないが、農道のあぜ道までにも手を加えている。現状この様なことが温暖化を助長したり、大雨が降れば鉄砲水。だから堤防を築いて治水整備しなければいけなくなってしまう。昭和58年9月28日私も未曾有の大洪水に遭い、築堤の恩恵は少なからず受けているのに……	貴重なご意見ありがとうございます。今後とも、関係自治体、関係機関、地域住民とも連携しながら、治水対策や災害に強い地域づくりに向けて努力してまいります。木曾川については、戦後最大洪水である昭和58年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるため、新丸山ダム建設や樹木伐開による河道断面積の確保をはかっていきます。	第1章第2節第4項 河川維持管理の現状と課題
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	忘れてならないのは原流上流地域の土石流防止対策である。上流地域での砂防の整備	森林の果たす土砂流出防止効果は大変重要であると考えております。ご意見を踏まえ、上流域においては土砂流出の防備機能等の保全を図るため森林の適正な管理の取り組みについて右欄記載箇所に記載しています。	第1章第2節第4項 河川維持管理の現状と課題
第1回ふれあい懇談会	可児会場	地球の温暖化は世界各地に大洪水をもたらし、その規模は土地の古老も経験した事もない程、大規模なものである。近い将来、この土地にも前回は上回るような大洪水が起こらないという保証はない。前回の洪水で冠水した地域の面積と水深を調査されて、それに見合う広さの誘水地を確保する。そして治水が目的ではあるが、平常は公園として、地域住民の健康作り、憩いの場として広く市民に提供する。	貴重なご意見ありがとうございます。計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題
アンケート	-	温暖化の影響で、今後は集中豪雨や巨大な台風がますます増加する傾向にある。想定外の雨量が発生し、川が決壊する前に早め早めに対策をしていただきたい。自然の猛威をこれ以上痛感したくない。	貴重なご意見ありがとうございます。計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題
第1回ふれあい懇談会	羽島会場	地球温暖化による気象異変50mm～180mm/Hの豪雨に対する対策と考えをご教示願いたい。	地球温暖化に伴う課題については、右欄記載箇所に記載しています。なお、計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	最近の異常気象への対策は河川計画及び管理に反映されていますか。(短時間降水量、ピンポイント降水等)	地球温暖化に伴う課題については、右欄記載箇所に記載しています。計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	最近の温暖化・異常気象の影響で観測史上初というような集中豪雨も発生している。遊水地の整備も含めて、さらに安全性を確保する必要がある。	貴重なご意見ありがとうございます。計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	これからは予想外の降雨が発生する。その予想を考慮して、河川管理を行って欲しい。	地球温暖化等に伴う異常気象による異常豪雨・洪水が心配されます。このための河道・ダムにおける対策と併せ、流域内での危機管理対策が必要であると考え、対策を進めます。	第1章第2節第5項 新しい課題 ・第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標 ・第3章第1節第1項 3 内水対策 ・第3章第1節第1項 4 危機管理対策第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	過去の災害に対して目標設定がされている様ですが、地球温暖化をはじめ、環境変化が激しく、一時的に大量の雨が降ったりすることが目に付く、そのあたり数字的にせいさされているのでしょうか	貴重なご意見ありがとうございます。 計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題 ・第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標 ・第3章第1節第1項 3 内水対策 ・第3章第1節第1項 4 危機管理対策第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	歴史事実を広く子供の代へ語りつくこと。	貴重なご意見ありがとうございます。 これまでの洪水被害の状況等を踏まえた河川整備を実施していきます。今後の河川行政の参考とさせていただきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	いつの時代も治水は大切な事業だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第4回ふれあい懇談会	一宮会場	河川整備は安全を地域住民に示す事が第一であり、樹木伐採であれ、外来種対策であれ、なるべく自然が良いと考えます。	河川整備にあたっては、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和しながら目標が達成されるよう総合的な視点で実施していきます。 なお、河道掘削や樹木伐開等の実施にあたっては、動植物の生息・生育環境に配慮するとともに、必要に応じて代替措置等により環境への影響の低減に努めるものとします。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第4回ふれあい懇談会	桑名会場	高潮堤防は河口から7.何kmというがもっと上流まで満ち引きがある。なんで7.何kmまでなのか。満ち引きのあるところは水位も上がるし、	高潮区間の考え方。河川整備計画原案(案)の3-48の先に計画緒元縦断図があり、右下に表11があります、青いラインが河川の計画高水位。赤いのが計画堤防高になります。高潮区間、右岸左岸とあるのが、高潮を考慮したものと計画高水の線が交わる区間を高潮区間としています。海水の満ち引きはこれよりも上流に海水が遡上する区間とは異なります。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第4回ふれあい懇談会	岐阜会場	川の使用について 昔と今では川の使用の考えも変わって来ています。人を川によびこむとか公園感覚の考えではなく川はながめて人の心をいやす整備などにもっていったきたい。	河川環境の整備と保全に関しては、木曾川水系として、豊かで多様性に富み、潤いと安らぎのある木曾三川らしい河川環境を目指すことを目標として実施していきます。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
第4回ふれあい懇談会	一宮会場	治水機能が充実されて初めて環境への配慮が考えられる。河川管理の基本理念と思う。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和しながら目標が達成されるよう総合的な視点で河川整備を実施していきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	河川利用の姿は上流、中流、下流、支流でそれぞれ違ってきます。治水についても細やかなニーズの把握と洞察力が必要です。	河川の計画においても、各地域と特性を踏まえつつ計画を検討しています。治水に係る整備の目標等については、河川整備計画原案(案)では右記記載箇所のとおり考えております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	養老会場	木曾三川の基本計画に「一之瀬ダム」の計画があります。これが実施されると大垣市上石津町多良地区が水没するだけでなく、時地区が上流部として孤立することになり、反対です。現在、上流の山々は植林化(杉・桧)が進んでいるだけでなく、35度以上の傾斜角、若しくは、積雪が1.5m以上は植林地として植林地として不適格とされているにもかかわらず、植林がなされている。又、このようなことが土石流危険渓流の上流部でも平然として行われている。この冬の積雪で20年前後の桧が倒木している。「一之瀬ダム」については、遊水池方式(すでに提案はしている)とすべきこと、杉、桧の植林も早急に見直すべきです。	ダム及び河道の計画を変更することにより、河道改修に対応できることとなりました。よって、遊水池等の検討はしておりません。 また、植林に関するご意見については関係機関に伝えます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	3-1(基本方針対応)とまでは言わないが、2-1(戦後最大洪水対応)以上は必要と思われる。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	(4)治水対策 1)根尾川、粕川も含め必要ですが 水の無い川(渇水時? (期))に治水対策、一般国民にとって変です、誰にでもわかる説明の出来る、そんな川づくりをしていきたいものです。	治水対策については、渇水時には水の流れない川でも、洪水時には激しい濁流が流れ、多くの災害を起こしてきた川が一般的です。治水対策は、主に洪水時に流れる洪水に対して、災害の発生防止又は軽減のために河川整備を行うものであり、支川については、近年の洪水被害の状況、改修の状況、本川とのバランスを考慮しながら実施していくこととしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	木曾三川の治水対策については、相当整備が進んでいると見受けられ、災害等に対する不安もなく安心して暮らしているのが現状であります。今後も万全を期していただくようお願い致します。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	人々が古来より生活の場所を求めたのは、河川に沿った場所であり、その川の恵みにより、あらゆる産業が発展し、人々の生活を潤してきた歴史があります。反面、水害などのために苦闘してきたこともあり、今後は環境に配慮した治水と共に、地域のための利水をする必要を強く考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 治水・利水・環境の調和はこれからの河川整備にとって重要な課題であり、これらを踏まえた整備を推進していきます。これら今後の整備については右欄記載のように考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	夜間に大雨が降る。見回りするが世間は平穏無事です。そういうことを見た場合、確かに木曾川さんはもう立派な事業をやっていたので心配はないと思います。いわゆる安心の裏にはとんでもない危険がつきものである。これからもそういう点も含めながら事業を進めていってほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	⑤他 三河地区における水不足の補水は大きな問題です、なぜ徳山ダムより丸山ダム嵩上げ事業を早く進めなかったのですか、私にはわかりません、今一番何が必要で何から始めるかですね。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の河川行政の参考とさせていただきます。なお、新丸山ダムの貯水容量には、三河地区の水源は確保されていません。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	歴史的にも治水対策に力を入れてきており、安全だと思っている。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	災害は100年に一度あるかないかというものである。治水は河川だけではなく流域全体の問題である。林業、工業、農業などの産業と一体のものである。従って国交省のみではなく自治体を含め総合的に考え検討すべきものである。縦横の連携を充分にとつて「治水」を進めなければならない。	貴重なご意見ありがとうございます。なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大野会場	1.とんでもない大洪水が発生すると思えば、とんでもない大濁水も発生する。近い将来とんでもない大濁水が発生する予感がしてならない。	計画の目標を超える豪雨・高潮・少雨の水象現象に見舞われたときにも、被害を最小化できる信頼性の高い危機管理対策を設けておくことは必要と考えます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	養老会場	下流から上流へと堤防の嵩上げ、拡幅、護岸、浚渫、雑木の伐採等々堤防の強化、流路の整備は住民に大きな安心感を与えている。実際、水量の増え方、水のひき方等目に見えて改善している。有難い。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	(最近の温暖化・異常気象の影響で観測史上初というような集中豪雨も発生している。遊水地の整備も含めて、さらに安全性を確保する必要がある。)に記したように今後は、集中豪雨の頻度が多くなる可能性がある。そうした点の配慮が必要となる。また、気象変動は雨不足をもたらす。多くの年月と経費をかけた徳山ダムのきめ細かな活用を進めてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	(別紙) 木曾三川の整備に関連して 川上(流域)の農業・農村の維持・保全が重要 川の上流である中山間地域の農業・農村:過疎化・高齢化が進み集落機能も維持が困難な地域が多くなってきている。(最近の新潟の地震、台風の被害もこうした点を浮き彫りにしている) こうした地域の農林業は水資源の涵養、洪水・山崩れの防止などの役割を果たしている。特に中山間地にある水田(棚田)は、河川の上流に位置し、大雨の降ったとき水量を調節するダムも果たす。【最近では耕作放棄が進み1割以上が荒れている】 山林も同じように、植樹、間伐、手入れが行き届かず、荒れてきている。 河川そのものの整備も重要であるが、上流の山では山林の維持・有効利用(植樹、間伐、更新、国産材の活用、バイオマスとしての利活用など)、農用地の維持・不作付け地の解消・出来れば集落の維持なども総合して取り組むことが重要な時期に来ている。 温暖化が進み、気象変動が大きくなり、未曾有の集中豪雨の可能性もある中で、周辺の整備はますます重要になってきている。	貴重なご意見ありがとうございます。 なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	58年9月28日の洪水以上の事も想定の上予備放水の完全実施による調整機能の充実	国土交通省において、計画規模を越える洪水においても洪水調節機能を発揮させることを目的として「事前放流」の検討を進めていますが、既設の丸山ダムでは、洪水吐きゲート施設の構造上、「事前放流による計画規模を越える洪水において洪水調節機能を発揮させることは困難な状況です。 なお、河川整備計画原案(案)において、計画している新丸山ダムの建設により、昭和58年9月28日の洪水に対しても、対処可能となります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	一宮会場	源流涵養地域を包含すべきである(農水省との共同必須)	流域状況として上流域に森林があることを前提に計画を策定しております。 なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	一宮会場	長期目標の中に「造山、植林＝山林のダム化」に重点を移すという方向性を示してほしい	流域状況として上流域に森林があることを前提に計画を策定しております。 なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	平成10年5月「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の記述に「コンクリートのない川づくり」「コンクリートの見えない川づくり」を目指し…の記述は間違いですので直すべきです。これは手段としての奨励で、目指す目的ではありません、これによって行政の下流で、大きな無駄が生じている。	国土交通省では、平成18年度に多自然型川づくりのレビューを行い、今後は多自然川づくりとして全ての河川でより自然に配慮し、生物及び植物が多様な川づくりを進めて行くこととしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	今迄以上にダム等の建設は出来るだけでなく、自然の状態を保つ様にする。	この度の河川整備計画原案(案)では、ダム建設は、「新丸山ダム」だけとなっています。 なお、治水事業の第1の目的は洪水時の水位を低下させることに有ります、今後も各河川の状況、自然状況などを勘案し、各種の整備方法からより住民の皆様にご理解いただける整備方法を提案させていただきたいと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第4回ふれあい懇談会	一宮会場	ヤマトシジミを既往最大洪水のときにも生かしておくために890億×65%の予算を使うのは、緊急に本当に必要なのか。別水系から微生物も含めて水を持ってくることは環境の攪乱である。きちんと議論していただきたい。治水予算が減ってきている中、優先順位からみて、他にやるべきことがあるのではないのか。導水路計画に対して愛知県として300億円も出すのが本当に妥当なのか。	河川の整備は、治水・利水・環境が調和されながら達成されるよう、総合的な視点で実施することを考えており、目的の達成のために必要な治水事業も連絡導水路も整備計画に位置づけることで考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	木曾川沿いで本市に係わる治水の問題は少ない。	かつての災害履歴においては、木曾川の堤防も損壊等受け、被災を受けており、未だ改修途上です。河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	9月26日は伊勢湾台風で6,000人が亡くなったという記憶を忘れずに、今後の川づくりを進めてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。過去の悲惨な災害の歴史を忘れることなく、今後の河川の整備に努めます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	今までと同じように治水、利水とも積極的な施策をすすめていただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。治水・利水・環境の調和はこれからの河川整備にとって重要な課題であり、これらを踏まえた整備を推進していきます。これら今後の整備については右欄記載のように考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐南・笠松会場(共同開催)	治水対策がしっかりなされていて安全が確保されていて安心です。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	扶桑会場	東海豪雨以降の治水などの対応策はどうなっているのか。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	三川のうち一番危険と言われる揖斐川水系に住んでいる住民として、徳山ダムにて安心できる環境がととのったのか。本当の事を知りたい。	徳山ダムが完成したことにより、揖斐川における安全度は上がっていると考えています。なお、揖斐川では、今後も水位低下対策、堤防強化などを実施することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	私達の住んでいる愛知県稲沢市は木曾川で治水に関しては大変良いと思っています。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	高須輪中会場	横山ダムができ、堤防も強化されて住民は大変喜んでいる。徳山ダムが完成すれば、一層安全は増すものと期待している。	徳山ダムが完成したことにより、揖斐川における安全度は上がっていると考えています。なお、揖斐川では、今後も水位低下対策、堤防強化などを実施することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐南・笠松会場(共同開催)	住んでいる場所の木曾川はわかりますが長良、揖斐についてはあまりくわしくない。木曾川はセキが多数あり、水量調査が進んでいるが、治山がうまくいっていないため、年に数回は木曾川が満水になりきけんを感じる。	木曾川については、戦後最大洪水の昭和58年9月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標に水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	自然は怖い物です。災害がなく、環境がよく楽しめる川がいいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	羽島会場	自然の中で毎日暮らして、災害がなく安全な暮らしと安らげる場所がほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 整備目標では、災害防止と環境の保全整備を行うものとしております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	百年に一度の災害にも対応すべきだと思う。	基本方針(案)を踏まえ段階的に整備を行うものとし、当面の河川整備計画原案(案)の目標として戦後最大洪水を設定しています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	多度会場	最近、農地の保水能力が減少している。一旦水の処理にも配慮が必要だと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	高須輪中会場	揖斐川沿川では、横山ダムができ、堤防も強化されて住民は大変喜んでいる。徳山ダムが完成すれば、一層安全は増すものと期待している。	徳山ダムが完成したことにより、揖斐川における安全度は上がっていると考えています。なお、揖斐川では、今後も水位低下対策、堤防強化などを実施することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	徳山ダムの完成と横山ダムの運用変更により、揖斐川の治水安全度が大きく高まり、地域住民として大いに感謝しています。	徳山ダムが完成したことにより、揖斐川における安全度は上がっていると考えています。なお、揖斐川では、今後も水位低下対策、堤防強化などを実施することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	災害のおこるところに人は住む、先人に学べ	貴重なご意見ありがとうございます。 今後とも、関係自治体、関係機関、地域住民とも連携しながら、治水対策や災害に強い地域づくりに向けて努力してまいります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	犬山だけでなく木曽川の全体計画 グランドデザインを見せて欲しい。その中の犬山の位置づけを知りたい。	現在策定を進めています河川整備計画原案(案)において、今後20～30年間の木曽川における全体及び整備の計画をお示していますのでこちらをご参照下さい。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	木曽三川のうち揖斐川の上流のダムも完成まぢか。それぞれの役割を充分はたしている。	徳山ダムが完成したことにより、揖斐川における安全度は上がっていると考えています。なお、揖斐川では、今後も水位低下対策、堤防強化などを実施することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
ハガキ	-	昭和58年9月28日美濃加茂市坂祝町に大洪水木曾川に流れる加茂川に逆流し町道が損壊しそのままの状態である。いまでも大水の時には畑に水の上るほの時もある加茂川に堤防を作り住民の安全を計ってもらいたい。木曾川沿いはきれいになったけれども一級河川になる加茂川の整備もしてもらいたい。現状ではゴミ捨場になっている所も数ヶ所ありどうしようない。きれいな町にしたいものだ。	本計画は、大臣管理区間を対象としています。いただいたご意見は河川整備計画原案(案)には反映していません。 いただいたご意見は、河川管理者の岐阜県に伝えます。	第2章第1節 整備計画対象区間
第1回ふれあい懇談会	桑名会場	国土交通省の管理する高潮堤と、県の管理する海岸堤防の境を分かるようにしてほしい。	河川は、河川法によってそれぞれ国、県、市町村が管理しています。河川整備計画原案(案)の対象区間は国の管理区間で右欄記載のとおりです。この区間以外は県と市町村で管理する区間です。	第2章第1節 整備計画対象区間
第1回ふれあい懇談会	桑名会場	木曾三川における管理・管轄の境界を分かるように説明してほしい。	河川は、河川法によってそれぞれ国、県、市町村が管理しています。河川整備計画原案(案)の対象区間は国の管理区間で右欄記載のとおりです。この区間以外は県と市町村で管理する区間です。	第2章第1節 整備計画対象区間
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	川の管理の分け方。本流、支流等。	河川は、河川法によってそれぞれ国、県、市町村が管理しています。河川整備計画原案(案)の対象区間は国の管理区間で右欄記載のとおりです。この区間以外は県と市町村で管理する区間です。	第2章第1節 整備計画対象区間
第1回ふれあい懇談会	可児会場	ダムにより長い年月をかけ木曾川左岸の車道の所が一部舗装されているが等など「侵食」され又道路を通る車の振動により場合によって、いつくずれ落ちるかわからない。早急に対策をお願いしたい。	自然河岸(岩)であることから護岸整備の計画はなく河川整備計画原案(案)に反映していません。	第2章第1節 整備計画対象区間
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	木曾三川としての基本方針河川整備計画についての説明でしたが、支川の根尾川・杭瀬川・牧田川についての補足説明がなかったが第1回の懇談会の中で実施されており市民は理解していたのだろうか？支川の説明も必要と感じた。	第2回のふれあい懇談会は、河川整備計画たたき台の骨子を説明させていただいたため、支川等の説明はしていません。 なお、河川整備計画原案(案)では、支川の目標流量や河川工事の施工の場所等を示していますのでご覧いただければ幸いです。	第2章第1節 整備計画対象区間
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	国管理区間の方が対策が早い。国管理区間を上流部の関市付近まで延伸し、治水対策を実施してほしい。	いただいたご意見は、河川整備計画原案(案)に反映していません。 上流部の県管理区間の対策については、引き続き岐阜県と連携していきます。	第2章第1節 整備計画対象区間
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	指定区間、大臣管理区間など管理の区間が良くわからないので、明確に示してほしい。	河川整備計画原案(案)に掲載しております。(右記を参照)	第2章第1節 整備計画対象区間
第3回ふれあい懇談会	桑名会場	整備計画は20年から30年となっているが、何処をいつ頃やるとか教えてほしい。	本計画について、具体的な年度計画は提示できませんが、本支川及び上下流のバランスを考慮し、整備していきます。	第2章第2節 整備計画対象期間
第3回ふれあい懇談会	一宮会場	整備計画の期間が20年から30年となっているが、優先順位が解らない、5年から10年単位で計画を示してほしい。また、今後の変更についても述べるべき。	河川整備計画原案(案)では、法令等により計画対象期間中における工事の目的、種類及び施行の場所等について定めるように決められおり、整備スケジュールまで決めることはなっておりませんので示すことができませんが、河川の整備に際しては本支川、上下流及び左右岸バランス等を考慮し河川の整備を実施することとしております。 今後の変更については、河川整備計画原案(案)に記載しております。	第2章第2節 整備計画対象期間

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	「計画対象期間(案)」のところで、「河川整備の当面の目標となる対象期間は概ね30年とする。」とあるのですが、30年の間における本計画の見直しというのはどの程度の頻度で行われるのか、明確にしておいて欲しいと思います。要望としては、5年ごとに見直しを行うということで、2～3年目の時にふれあい懇談会のような意見聴取の場を設けてもらいたいと思います。	30年とは、河川整備計画原案(案)の当面の目標期間であり、計画が30年間変わらない物では有りません、5年間を目処に見直し等を行ってまいります。また、住民の皆様のご意見も機会を設けたいと考えていますので、宜しくお願いいたします。	第2章第2節 整備計画対象期間
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	河道整備、ダム整備により対処して行くということですが、何年かけて完成するのでしょうか。その間の対策が考えられているのであれば。	本計画では、概ね30年を計画対象期間とし河川整備を実施していきます。	第2章第2節 整備計画対象期間
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	一級河川の木曾川は管理がきちんとされている。管理が国とか地方自治体とかで分けられているのが、統合して管理できないのか。	河川法で各々の管理区間が定められておりますので、現時点で統合しての管理は困難です。	第2章第2節 整備計画対象期間
アンケート	-	工事計画の年は長すぎる。やはりもう少し短いスパンで計画してほしい。堤防側の方に水の流れてきているので真ん中の砂を浚渫して流れをまん中にしてほしい。	河川整備の効果を発現させるために必要な期間として概ね30年間としています。ご理解願います。なお、河道掘削については、右欄記載箇所のように考えており、今後も河床の状況をモニタリングするとともに、環境上の観点からも観察してまいります。	第2章第2節 整備計画対象期間 第3章第1節第1項1(1)河道掘削・樹木伐開
第1回ふれあい懇談会	安八会場	昭和51年と同じ洪水がきた場合に今は大丈夫と思っているが、実際はどうか。	長良川において、今回の河川整備計画原案(案)では戦後最大洪水となるH.16.10洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	木曾三川と言われても私は鶴沼で生まれたものであり木曾川のこのことのみ意見を申すこととなります。木曾川、長良川、揖斐川を比較した時、川の規模、景観、水の美しさ等すべて木曾川が一位と思っています。治水についても私の記憶では木曾川の氾濫は一回(美濃加茂市、坂祝町が被害を受けた)ありますが現在は治水工事はよく施工されていると思う。	貴重なご意見ありがとうございます。河川の整備については、本支川及び上下流バランスを考慮するとともに、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮するなど総合的な視点で推進していきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	近年コンクリートで覆われた護岸工事は少なくなって、魚や植物の生息に配慮した自然にやさしい護岸工事が進んでいる。ある人に言わせれば何もしないのが一番自然にやさしいことだと言われる。そのとおりだと思う。しかしそのままでは災害もなく安全な河川にはならない。災害もなく安全でしかも自然にやさしい川づくりは今もそしてこれからも課題であり大きな問題であると思う。また、河川環境、川づくりの中で、地域の人々や子供たちと河川が身近な環境となる整備を継続して進めていただきたいと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。また、水質の改善、親水性の向上を図っていきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	本来なら「堤防」は不要なれど、日本は「堤防」で川を治めようとしている。自然を残し川の機能を保つこと。本当にむずかしいですが・・・。	貴重なご意見ありがとうございます。洪水を安全に流下させ、自然環境の保全に配慮し、川づくりを行っていきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	治水については多々ご座いますが、私共が住む町、大垣を囲む揖斐川水系と申しますか？私は、前に述べました通り長崎県諫早市を流れた本明川以上にキケンが一杯の水系ではないか？と想っています。慣れとは怖いもので何時もキケンと隣同士で過ごす、そんな暮らしの中で川が好きで川で遊び年を重ねた今も、よい時、悪い時、嫌な事が起こると川へ足が向く、瀬を流れる川、ゆっくり穏やかに流れる川、子供の頃橋の欄干から飛び込んだ、本明川水害まで暮らした思い出の町へ先日旅をしました。本明川には水は無く見るに汚い河川敷に変貌していました。本明川に沿って水害の折、助けて頂いた小長井を訪ねる途中、諫早湾に立ち寄りました。懐かしいはずの干潟を見た時、其処にはムツゴロウの子どもの姿も見ることの出来ないヨシが茂り粗大ゴミが捨てられ干潟は死んでいました。川も干潟も海もみんな国民一人一人の住みよい環境を作り与えてくれる大切な財産です。治水と言う名の基に、危険な冒険的治水ではなく本当の意味での国民一人一人に優しい治水をお考え頂きより善い河川整備にご努力頂きます様、強く望みます。	貴重なご意見ありがとうございます。 河川整備においては、多自然川づくりに取り組むものとし、良好な自然環境の保全に努め、河川環境に影響を与える場合には、施工形状、工法の工夫や代償措置等により、影響の回避・低減を図ることとしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	治水と環境に関しては相反するものだと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。 河川整備計画原案(案)では、治水整備を行い安全性を確保した上で、河川環境の整備と保全を実施することとしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	河川の利用・利水についてこの地区では自然をあまり触らず今の程度で良いかと思えます。	河川整備の目標については、右記載箇所に記載のとおり考えています。 なお、河川利用は今後も増加すると考えており、適正な河川利用を推進してまいります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	瑞穂会場	安全対策と自然景観(生き物、安らぎ、美しさ重視)対策の両方を取り入れた河川対策を考えて、進めていただきたい。	河川整備においては、多自然川づくりに取り組むものとし、良好な自然環境の保全に努め、河川環境に影響を与える場合には、施工形状、工法の工夫や代償措置等により、影響の回避・低減を図ることとしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	増水時に不安に思う。	増水時は確かに不安に思われますが、今回の河川整備計画原案(案)では、戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	100年の一回の災害に持つのか。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	河川整備を行うにあたっての、目標について教えて欲しい。	河川整備計画原案(案)の目標については、各河川の目標流量等を河川河川整備計画原案(案)の右欄記載箇所に記載しています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	水の出が早く、堤防がもつのか心配。23号台風のとくに堤防一杯だった。	長良川については、戦後最大洪水となる平成16年10月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	羽島会場	利水と洪水は両方必要である。	治水・利水・環境それぞれの目的が調和しながら達成されるよう、総合的な視点で推進してまいります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	可児会場	今回、可児側を見て自然がかなり残っていて災害の心配があまりなければ川に降りる道をつくるくらいではこのままでいいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	他の二つの川については分かりませんが、木曾川の中流域である犬山に住んでいるかぎり、治水面で心配な事はないです。と思うのは考えが甘いのでしょうか？	かつての災害履歴においては、木曾川の堤防も損壊等受け、被災を受けており、未だ改修途上です。河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	犬山では水害での大きな心配はない。	かつての災害履歴においては、木曾川の堤防も損壊等受け、被災を受けており、未だ改修途上です。河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	万全を期する意味で治水を考えた河川の有効利用を考えたい。	河川の整備については、本支川及び上下流バランスを考慮するとともに、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮するなど総合的な視点で推進していきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	羽島会場	自然・治水への配慮の維持が必要と思慮する。	貴重なご意見ありがとうございます。洪水を安全に流下させ、自然環境の保全に配慮し、川づくりを行ってまいります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	江南会場	当地方は、宮田用水も有り畑カンも設定されているので満足しています。	いただいたご意見は、用水管理者の東海農政局へ伝えます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	神戸・池田会場(共同開催)	福井地区 農業用水がとどこおりなく、治水をお願い致します。(現状維持がいつまでも)	貴重なご意見ありがとうございます。治水・利水・環境の調和はこれからの河川整備にとって重要な課題であり、これらを踏まえた整備を推進していきます。これら今後の整備については右欄記載のように考えています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	治水ばかりでなく、環境、水、利水にも重点を置いた整備をしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。治水・利水・環境の調和はこれからの河川整備にとって重要な課題であり、これらを踏まえた整備を推進していきます。これら今後の整備については右欄記載のように考えています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	かつて河川の治水は「きゆうてんじ」で苦勞したが、両河川とも治水が進んで安心している。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標 ・第3章第1節第1項 1 水位低下 ・第3章第1節第1項 2 堤防強化
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	とにかく豊かな生活環境を与えてくれる木曾三川。我々にとって杭瀬川はなくてはならない川だと理解する反面、あなどると恐ろしい牙をむく。流域住民が安心して生活できるそんな整備をこれからもお願いしたい。それぞれの期成同盟会等の要望を真に受けとめ、全力で改修に努めていただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	私は大垣市最南端輪中(大垣)の最低湿地に生まれ育って来た中で治水の大切さは先人、親からと生きると言う事の中で水害と生活は切り離して考える事は出来ず、治水に始まり治水に終わると教えられております。宿命と言いますか治水そのものが人生であるような気が致します。今後も刻一刻と環境の変化する中、各々の川の特徴を見極めて治水対策を推進しながら「安全安心」のまちづくりを官民一体で努力して行かなくてはと考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。今後とも、治水安全度の向上にむけて努力してまいります。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	瑞穂会場	安全率の設定は？橋、堤防の強度等、流量	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	本巢会場	安全で安心できる河川にしていきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	安八会場	住民にとって安全で安心できる治水管理をお願いしたい。30年前の悲劇が2度と起こらないように。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	私の町は揖斐川、長良川に挟まれた地域です。水害のない安心安全な川であって欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	明治29年9月8日に私の住む多芸島の上流分、現在水都大橋500m下流の堤防に守護神碑があり毎年お祭りを行っています。今では堤の西側に池がなくなりました。子供の時は両方に大きな池がありました。今この近くでこのような決壊がありましたら大垣市の半分が水びたしとなり大変な事とであります。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	・目標設定は必要であるが、S58洪水時の目標はほとんど意味が無いと思います。方針、手法転換の時期が来ているのでは。 ・確率降雨も実績降雨異常環境時代においては無力。詳細な計算は不経済だと思います。よって、破堤氾濫の意味、利用価値も低いものだと思います。(参考のみ) ・効果があると考えられるメニュー 1.堤防越水時の破堤防止策(早急に！) 2.洪水調節機能の強化(遊水区域の増大) 3.流出量抑制策の多面的検討の余地はまだ有る。 4.上流部集水域の許容湛水深の見直し。	木曾川については、戦後最大洪水である昭和58年洪水を安全に流下させることを目標としております。 なお、計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	水量も多く周囲に影響を及ぼす大きな河川なので、治水は非常に重要だと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	神戸・池田会場(共同開催)	現場巡視で説明をうけ、治水の大変さについての認識を新たにしました。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	災害もなく、安心して暮らせることを感謝しております。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	治水に関しては災害が少なく安心している。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	羽島会場	特に洪水については自然のことで人的にどうにもならないので100年に一度を想定して安全と安心に力を入れて下さい。それは費用も必要であるのでムダを排してやるべきである。	貴重なご意見ありがとうございます。 将来的には基本方針(案)に定める目標に向けて河川整備を推進していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	1日も早く水害のない町づくりを願います。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	杭瀬川左岸 新しく工事未決の所が54箇所ほどありますので全体的によくお願いします。	いただいたご意見ですが、「新しく工事未決の所が54箇所ほどある」ということですが具体的箇所等の特定ができないため、具体的見解をお示しすることはできませんが、杭瀬川の改修におきましては、順次進めていきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	目標設定は過去のデータに基づいて出されているのですが、その当時と現在では土地改変等の条件が異なると思いますので、+α	当面の河川整備計画原案(案)の目標として戦後最大洪水を設定しています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	安全の確保を第一に整備を行っていただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。 木曾川、長良川、揖斐川とも河川整備計画原案(案)の目標として、各河川の戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化等を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	堤防補強はどれだけ行ってもやりすぎることはない。危険区域の強化を。輪中内で決壊すればどこも同じ水害となってしまふ。	貴重なご意見ありがとうございます。危険箇所や被災箇所等河川の状況、緊急性等を勘案し、安全性の確保に努めてまいります。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	杭瀬川水都大橋より上流部の改修も進めていただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。 順次改修を進めていきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	治水とお金の話に絞ると、荒崎地区では度重なる水害にあっているが、徳山ダムに予算をつけるため予算を削っている。こういう無駄なところにお金を使ったために、私たちの安全が脅かされていることを指摘したい。	貴重なご意見ありがとうございます。 支川での河川整備については、近年の洪水発生状況や、本川とのバランス等を考慮し実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	この度天竜川で決壊災害が見られたが、木曾川水域の安全レベルはどれ位の位置付けか？	今回の河川整備計画原案(案)においては、木曾三川とも戦後最大洪水と同規模の洪水を対象目標としています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	市内の木曾川での大雨に依る堤防の決壊などの氾濫はないと思う。	かつての災害履歴においては、木曾川の堤防も損壊等受け、被災を受けており、未だ改修途上です。河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	安全でくらせる上流からてっば水がこない川にすると良い。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	揖斐川について新たなダム群を整備することがなくなった事は大変良い事と思う。ただ、牧田川の流量設定はどうなのか、ダムに依らなければ遊水池もいらないという事で(相川への逆流)本当によいのか。	ダム及び河道の計画を変更することにより、河道改修に対応できることとなりました。よって、ダムや遊水池等を位置付けることはなくなりました。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	桑名会場	一部のところを集中的に施工するのではなく、全体的にバランスよく整備を行っていない。	河川整備計画原案(案)では、施工の具体的な年度計画は提示できませんが、本支川及び上下流バランスを考慮し、推進していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	治水の目標で、67k日本ライン付近とあるが、どこのことか。	ある特定の場所というわけではなく、美濃加茂市の中濃大橋の下流あたりを表しています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	過去に水害を歴史的な治水事業をふまえ、先人の知恵に学び、ダムに頼らない治水を目指してほしい。	河川の状況、社会的な条件、河川環境、事業費効果等を十分踏まえながら、ダム、河川改修等の適否を比較衡量のうえ、河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	安全な河！！	貴重なご意見ありがとうございます。 木曾川、長良川、揖斐川とも河川整備計画原案(案)の目標として、各河川の戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化等を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	長期的に先を考えた治水工事が必要だと思う。	長期的には河川整備基本方針を策定し、これに基づき実施するとともに、河川整備計画原案(案)では、戦後最大規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標とし、その効果を発現させるために必要な期間として、概ね30年間としています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	多度会場	過去の教訓を生かしながら、万全な治水体制となるように整備してほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	羽鳥会場	自然も大切ですが洪水の恐ろしさを羽鳥市で知りましたのでぜひ治水対策をよろしく願います。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	当面目標(整備計画目標)としては戦後最大洪水を安全に流すことでやむを得ないが、万が一破堤するようなことがあれば想像を越える被害となるので、計画流量も溢水しない堤防高であることをチェックしておいていただきたい。	計画目標流量を安全に流下できるよう堤防整備、河道掘削、樹木伐開等をおこないます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	木曾川は、S58.9.28洪水(16500m ³)+αを基準(計画19500、河道13500)にしているようですが、その内河道配分は、既洪水16500m ³ より少ない13500m ³ であり、洪水が長引けば調整が出来なくなり、また越堤する恐れがあります。せめて、河道配分で16500m ³ まで目標を上げられないか。	洪水調節施設と河道との配分については、木曾川における流域人口や資産価値、現況の木曾川の整備状況や流下能力の限界等様々な制約を考慮し、総合的に判断して設定しており、河道配分を引き上げることは困難であると考えています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	高須輪中会場	防災を第一に考えて川づくりを行ってほしい。	治水による安心・安全な地域づくりを構築するとともに、利水、河川環境とも調和のとれたバランスある河川整備を進めていく考えです。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	子供の頃、災害にあっているのが安全な川にしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	南濃会場	揖斐川右岸の堤防整備の計画について説明してほしい。	戦後最大洪水となる昭和50年8月及び平成14年7月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標に整備します。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	揖斐川会場	三川の中でも私たちに身近な揖斐川に関して。治水に対してはいくつものダムがあり安心しています。(父から昔の揖斐川の恐ろしさを聞いている)	貴重なご意見ありがとうございます。 揖斐川については、戦後最大洪水の昭和50年8月洪水及び平成14年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるために必要な水位低下対策等を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	高須輪中会場	勝賀が6月か7月頃に切れたとき、道路が冠水するくらいの浸水があり、水田がダメになった。	昭和27年のダイナ台風(台風2号)による洪水と思われるが、「戦後最大洪水となる平成16年10月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とする。」としています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	地球温暖化のためか降雨量が時間30~70mmがしばしばで、流量計算の数値を見直し引き上げて対応等を講ずるべきではないでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	昔は堤防が低くても、危険は感じなかったと思う。	木曾川については昭和58年9月、また長良川については平成16年10月に戦後最大規模の洪水が発生しており、これらと同規模の洪水が発生しても安全に流下させるため堤防強化等を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	支派川も本流と同じように、災害が起きない様な対策を願いたい。	支川の河川整備については、近年の洪水被害の状況、改修の状況、本川のバランスを考慮し実施していきます。 なお、支川の目標流量については、右欄記載箇所に記載しています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	国交省は努力され、よい部分を説明されましたが、この地域の改善には、声が小さいような気がする。	長良川については、戦後最大洪水である平成16年10月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるために必要な水位低下対策等を実施していきます。 今後とも地域と連携して治水対策を推進します。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	安全な川	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	治水目標が住宅政策と関わりなく進められているように見える。人はどこに住んでいいのかいけないのか。線引きは難しいが、あえてそこに挑まないと。川を閉じこめる発想しかでてこないのではないのだろうか。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。計画を上回る洪水等について、被害を最小化する取り組みとして、土地利用規制や、保水機能の保全についても第3章に記載しております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	治水に関する取り組みでは、川だけで対応しようとしていないか。 ・都市域では一時貯留による流出抑制が必要であるが、遊水地や調節池について関係機関と協議しているのか。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。計画を上回る洪水等について、被害を最小化する取り組みとして、土地利用規制や、保水機能の保全についても第3章に記載しております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	突然の懇談会参加要請により木曾川用水史(水資源公団発行)に目を通す事となりました。木曾川用水関連年表に記されている偉大な歴史詳細な取り組みに痛感した。我々住民は地球温暖化を考える時今一度過去の治水歴史を知る必要が有る。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。 過去の治水史については、第1章に記載しております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	江南会場	水位の低下のシュミレーション昭和30年頃から平成50年頃	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。 過去の水位状況などについては、第1章に記載しております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	可児会場	重要水坊箇所「洪水時に危険が予想され」とあるが危険が予想される流量、水位はどの程度か教えていただきたい。	河川整備計画原案(案)においては、戦後最大洪水を目標としており、危険箇所等についても記載しております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大野会場	根尾川、大野町側の堤防は今後切れることは想定されますか？またどの程度の水量で危険ですか？	河川整備計画原案(案)では、目標流量、2,100m ³ /sを安全に流下させるための整備を行っています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
アンケート	-	災害を望む人など誰も居ない。人間の知恵は自然環境を守りながら、自然災害にどう対処するのでしょうか。もっと真剣に考えてほしい。	木曾川、長良川、揖斐川については、各河川の戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標として河川整備を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第3回ふれあい懇談会	一宮会場	昔からの治水の歴史を踏まえた河川整備を行って欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 これまでの洪水被害の状況等を踏まえた河川整備を実施していきます。今後の河川行政の参考とさせていただきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	瑞穂会場	水の災害には過去何百年の間、瑞穂市(瑞穂・巣南)の各衆には随分と苦勞をして来たことを聞いております。 国の機関も大変水害から住民を守る為に費用をかけ、今日見せて頂いて感無量のものを感じました。これからも何卒よろしく。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。 今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	事故、被害の責任の取り方。	河川敷地内の事故及びその被害については、基本的に原因者が責任を取っていただきます。 また、洪水被害については、洪水が整備で計画していた規模以上の洪水または整備途中で合る場合は災害となります。 河川管理者の責任において河川整備を進めます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	扶桑会場	木曾川の堤防は古くからあるが、計画高水位はどのように決めているのか。また、何年に1回の出水で決めているのか。計画高水位を決めて堤防を作っているのか、それとも堤防ありきで計画高水位を設定しているのか。	木曾川は戦後最大洪水(昭和58年9月洪水)と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。これらの流量をもとに現堤防を基本に計画高水位を定めています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第3回ふれあい懇談会	桑名会場	目標とするレベルの説明が理解できない。説明会等で何年歴という事を引用されるがそれらに対する「安全率」では説明できないものか？又、地震や津波の事も説明や目標に加えてほしい。	戦後最大規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。また、地震により被災した場合、浸水による二次災害及び津波による被害のおそれがある箇所については、耐震対策を推進することとしております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	大雨が降れば短時間で一気に河川を流れ下る極めて河川災害に対して脆弱な地形です。このようなことから、治水事業の推進は、自治体における災害に強いまちづくりへの根幹に係わる重要なことです。住民の生命と財産を守る治水は国の基本的責務であり、安全で安心できる生活基盤と産業基盤を整えることが国を含めた行政の役割です。本来、治水事業は災害予防と災害復旧を一体的に実施することで地域の安全性を高め、国土を保全していくものと考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。今後とも、関係自治体、関係機関、地域住民とも連携しながら、治水対策や災害に強い地域づくりに向けて努力してまいります。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標 ・第3章第1節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	降雨量は計り知れない事態が起きるかもしれない。東西に長良川、揖斐川をひかえ、水害のない安全・安心の川でありたいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。洪水の通常な作用に対する安全性向上策や、万一の場合の危機管理対策も進めていく必要があります。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標 ・第3章第1節第1項2(1)洪水の通常的作用に対する安全性の強化 ・第3章第2節第1項 9 危機管理対策
第1回ふれあい懇談会	本巢会場	治水は国の文化バロメーターである。後進国の自然そのままが良いが水を利用しながら整備された河川が安心であることが基礎であり、その上に水を利用した産業工業があり、その後レジャーや遊園地利用があると思います。急流の多い日本の川は変化があり、安心であればそれ自体人を集める観光となり得ると思う。人を苦しめない河川の実現こそ日本が求める「水」「川」「自然」であるべきだと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。治水、適正な水利用と河川利用、自然環境と調和した河川整備を目指します。河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標 ・第3章第1節第3項 1 河川環境の整備と保全 ・第3章第1節第3項 2 川と人とのふれあいの増進

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	羽島会場	度重なる治水工事、河川管理が行われており、特に意見なし。但し、人間が生息地域住民の生命・財産を守ることは第一義的に重要な価値であり、最優先すべきことであり、絶えず河川管理に配慮して行く事が大切である。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標 ・第3章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐南・笠松会場(共同開催)	以前に比べ、川底が下がったこともあり、堤防を超えることはないと思います。従って治水に対して問題はないように思われます。しかし、今の気象状況は局地的な大雨が降り、100%安全であるとは言えなくなっており、一層の対策も考えていただければと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。また、それを越える洪水が発生した時の対応なども危機管理対策として計画しております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標 第3章第1節第1項 4危機管理対策
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	利用・利水については直接地域経済を左右する問題でもあり簡単に論ずる事には成らないと考えられますが、戦後の食糧難の時代には産児制限が叫ばれ、バブル期には企業が経済成長を追求するあまり「人に厳しく己に優しく」の結果、妊娠を喜び上司に報告した為に無理やりに産婦人科に連れて行かれ亡き者にされた事実、この様な時期も有りました。その後このご夫婦にはお子様は無く老夫婦寄り添う形で細々とお暮らしの様子です。いま国を挙げて子ども増産運動展開中。しかし男女共同参画等に見られる通り、戦後の日本が歩いた嫌な実績はそのままに意見のみ求められても人間素直になれない一面もあろうかと存じます。利用・利水の問題もすっきりしないこれらに近いものが在る様な感が致します。国民を犠牲にしない企業優先の利用・利水ではなく、地域にお住まいの方々の暮らしと安全を最優先に「自分に厳しく人々に優しくを合い言葉に水利・利水」の企画遂行にご努力頂きたいと存じます。	地域の方々のご意見・ご理解を得ながら計画を進めて参りたいと考えております。	第2章第3節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	この夏の暑さが各方面に及ぼした影響を見る限り、人間が想定出来る内容、領域には自ずから限界が在ることは自明である。従って、想定外の大雨量が思いがけない地域で発現したという事態は当然のことというべきである。更には大雨量に併せての強大風力発現といった状況、或いは地震併発等々も現実のものとなり得ると思うべきであろう。詰まりは、何処かでは見切らざるを得ない極限状況と直面することも在るというのが現実となれば、当面の目標設定は一応妥当とすべきだろう。	計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	木曾川はかんがい期150m ³ /s非かんがい期80m ³ /sにしているか長良川、揖斐川はなぜ年間同じか？	維持流量が一年を通して同じ流量ですが、木曾川においては、取水量を見込んでいるため、期別で正常流量は異なります。	第2章第3節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
第2回ふれあい懇談会	桑名会場	木曾川中流部の水が少ない気がする。色々な意見があるが、川には水が流れているほうが良いと思う。	木曾川では、木曾成戸地点において1/10 規模の渇水時に40m ³ /s、異常渇水時(平成6年渇水相当)にも40m ⁴ /sの流量を確保するとともに、水利用の合理化を促進し、維持流量の一部を回復することを目標としております。	第2章第3節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	人間の病気に関しては「手術が成功しました、亡くなられました」と笑えない話があるのが最近の医術だ。河川整備が洪水対策と利水に偏重されるあまり川として死んでいる、ということにはならない明確な環境目標が必要。果たしてこのままの目標は充分にその意味を果たしているだろうか。弱いと言うしかない。いったい「川」をどんな姿にしようとしているのか。もっと見えるようにしてほしい。	河川環境の整備と保全に関しては、木曾川水系として、豊かで多様性に富み、潤いと安らぎのある木曾三川らしい河川環境を目差すものとしており、皆様から様々なご意見をいただきたいと思っております。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
アンケート	-	これ以上ダムや河口せきを作らないでほしいです。人間が自然をコントロールしようなんて事は、不可能ですから。	貴重なご意見ありがとうございます。整備施設は計画検討や事業評価を受けて選定されることとされています。今回の河川整備計画原案(案)では、ダムの新設は、新丸山ダムだけとなっています。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	木曾三川の目指す環境の年代目標と内容を示してほしい	河川環境の整備と保全に関しては、木曾川水系として、豊かで多様性に富み、潤いと安らぎのある木曾三川らしい河川環境を目差すこととしています。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
第1回ふれあい懇談会	可児会場	江戸時代の治水が今改めて見直されているように、100年先を見通して、「緑」を優先した、治水を考えたい。	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
アンケート	-	木曾三川は日本に誇れる河川です。この水系をいつまでもkeepしていただきたい	今後の河川行政の参考とさせていただきます。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
第2回ふれあい懇談会	桑名会場	(アンケート3.環境目標に対して)上記3点はとても良い目標と思います。是非目標達成していただきたいとお願ひします。	河川環境の整備と保全に関する目標については、地元住民の皆様、自治体等と連携しながら、達成に努めます。今後ともご協力、ご意見いただければありがたく存じます。	第2章第3節第3項 河川環境の整備と保全に関する目標
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	環境等の整備も大切であるが、治水工事を優先してほしい。	河川整備計画原案(案)において、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。また、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	環境よりも洪水対策を望む。大雨時の洪水対策を完全にしてほしい。	河川整備計画原案(案)において、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。また、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	予算の問題もあり困難な面もあるが、人命尊重を第一にして取り組んでほしい。	河川整備計画原案(案)において、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。また、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	堤防高不足、漏水対策、桁下高不足、高潮高不足、高潮堤未整備等の治水を環境利水より先づ第一に実施してほしい。	河川整備計画原案(案)において、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。また、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	安全と美観は言うに及ばないが、それを越える環境を求めていきたい。	河川整備計画原案(案)において、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。また、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標 第3章第1節第3項 1 河川環境の整備と保全
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	安全・安心の上になち、楽しさと安らぎの場が作られると思う。	貴重なご意見ありがとうございます。 楽しさ、安らぎのある川づくりの観点も配慮しながら河川整備を進めてまいります。今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章第3節 河川整備計画の目標 第3章第1節第3項 2 川と人とのふれあいの増進
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	治水を最優先に河川整備を進めてほしい。	治水の促進はもとより、河川は、治水、利水、環境の面で総合的に調和がとれていることが必要です。この観点を踏まえ、河川整備計画原案(案)において、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	河川利用についてはまず環境と治水を優先した上で人間の本当に役に立つ利水は何であるのかを十分に考える必要があると思います。	河川の整備については、本支川及び上下流バランスを考慮するとともに、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮するなど総合的な視点で推進していきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	岐南・笠松会場 (共同開催)	「羽島用水など」地域の住民はいつまで負担していくのか。田・畑の面積相当で〇万円/年×永久ですか。不要不急の暗渠化工事などが上記につながるのであれば、先ず住民負担経費を減らしてほしい。	用水路の管理につきましては、管理者が違いますので申し訳ありませんが管理者様にお申し出下さい。	—
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	7長良川の直轄区間を津保川合流点まで延伸すること。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の河川行政の参考とさせていただきます。今すぐ管理区間を変更することは困難であると考えます。	第2章第1節 整備計画対象区間
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	河川整備が実施されていますが、整備計画の工程の説明が不十分で地域住民が理解出来る方法で説明会の開催を願います。	貴重なご意見ありがとうございます。ふれあい懇談会における説明、HPIによる資料の公表等を重ね、多くの方々にご参加いただき、多数のご意見・質問をいただきました。出きるだけ図表等わかりやすいように努力しましたが、専門的・技術的な用語などご理解しにくい点があったと思います。今後、ご意見等を参考に、より理解しやすくなるよう努めて参りたいと思います。	—

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	洪水にならなければ良い。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	次の世代の子供・孫達が安心して暮らせる様をお願いします	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	徳山ダム完成に伴い、下流部揖斐川本流、流域杭瀬川牧田川も大きく改修促進していただき、河川環境が変化してまいりました。大変うれしくわくわくした気持です。今後も継続して整備してほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の河川行政の参考とさせていただきます。	-
第4回ふれあい懇談会	一宮会場	国交省は治水について第一に考え、他のことについては関係市町とよく協議し進めるとのこと、しかしながら関係市町との協議内容についての情報については殆ど一般市民には公表されていないのではないか。(協議内容結果)	河川整備にあたっては、治水のみならず、利水、環境というそれぞれの目的が調和しながら目標が達成されるよう総合的な視点で実施していきます。 なお、事業計画や工事内容等の情報については、広報誌やホームページへの掲載を通じて地域住民の皆様にも周知できるよう努めていきます。	-
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	治水について・・・昭和20年代ぐらいまでは木曾川が決壊するんじゃないか。今あそこで浸透水が吹き上がっている等々の話も聞きましたが、河川整備によって今はその様な心配もほとんどありません。当時を思うと良くなりました。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後も皆様に安心して暮らしていただけるよう、整備してまいります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	地球温暖化の影響で最近の雨量は予想をはるかに上回り過去の記録を更新しております。また上流地域の山は伐採され、田畑は宅地化され、保水力が低下しているのが現状です。このため16年10月20日台風23号に見られた異常出水は今後も起こるものと考えるのが当然であると思われ 23号の出水が、あと30cm上昇したら川原町地区は完全に浸水の被害に合ったものと考えられます。以上理由から「治水」は十分安心出来ないものと願います。	頂いたご意見については、大樽川の河川管理者である岐阜県に伝えます。なお、都市河川等において水質、親水空間、景観、修景等の生活環境や自然環境の維持・改善に努め、健全な水循環の構築を推進します。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	先に長良川の西之の決壊がありまして以来何事もありませんが、最近の雨は大雨になる事がありますのですべてについて良くしていただきたいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	宝暦治水、明治のヨハネデレーケによる治水事業等をへて現在の木曾三川は美しい水の流れを形成していると思うが、地球温暖化、水田等の減少、山林の荒廃による一気の増水流水が河川最下流においては大きな問題となってきている。机上の計算では時間100mmを越える雨は想定外かもしれないが地元は危機的状態河川の増水をながめているわけで、その辺りも十分ご理解をいただき、治水に完全はない、治水事業に完成はない、そんな想いで今後も治水事業に努力していただきたい。	計画の目標を超える豪雨・高潮・少雨の水象現象に見舞われたときにも、被害を最小化できる信頼性の高い危機管理対策を設けておくことは必要と考えます。 なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	本巣会場	関連した整備環境も大事であるが、まず治水第一であると思う。異常気象で計画見直しも必要ではないでしょうか。	当面の整備計画原案(案)の目標として戦後最大洪水を設定しています。災害等異常洪水や異常増水が発生した場合、見直しをする事としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	選択肢については、それを選択するとどれだけコストがかかるのか、その整備がないとどれだけの災害を受けることを我慢しなければならないのか全くわからない。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。コストについては、実現可能な計画とさせていただきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	整備計画期間は20～30年となっていたが、説明では30年と説明。公共事業費が縮減されるなか最大期間をとらざるを得なかったと思うが、最新の以上降雨や濁水を考えたとき、30年間ダム計画検討放棄になってはと不安に思った。	当面の整備計画原案(案)の目標として30年間を設定しています。災害等異常洪水や異常濁水が発生した場合、見直しをする事としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	ダムですべての事が足りるような考え方や智慧がない。最低限の工事はあるのですが、大型事業を誇りとしながら環境破壊をしている公共事業のあり方は根本からあってはならない事。荒崎水害などは人災なんだから。※水害に遭ったとか、水不足で困ったという設問の前に考える事ってありませんか。	河川整備にあたっては、各河川の流域の状況等を踏まえ、費用と河川整備により得られる効果・影響を考慮して計画的に河川整備を進めていきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	最近の増水は、短時間に出水し、災害対策に対応しきれない。長良川中域・上域に対して、対応を考えるべきでないでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。長良川では、中流域に遊水地を設ける計画としています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	近年治水の安全度は良くなってきているが、150年から200年に一回程度起きるとされている洪水に対応できる治水施設の整備が必要である。	当面の整備計画原案(案)の目標として戦後最大洪水を設定しています。災害等異常洪水や異常濁水が発生した場合、見直しをする事としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	今後の人口が減少する中、財政状況、利用率や必要性など条件を整理し、市民参加のもと、目的をはっきり決めて実施する必要がある。	流域と河川の現状と課題、整備の目標について、ふれあい懇談会や流域委員会を活用し整備計画原案(案)を策定することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	近年の雨は1ヶ所にたくさん降る事が多いので、どこと言わずこれであつたら大丈夫と思えるまで補強改修をお願いします。近い所でこれで大丈夫かなと思う所を別紙に書いてもっております。	基本方針(案)を踏まえ段階的に整備を行うものとし、当面の河川整備計画原案(案)の目標として戦後最大洪水を設定しています。災害等異常洪水や異常濁水が発生した場合、見直しをする事としています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	大垣市民にとって問題は何でしょうか?2002年水害まで、十分な予算配分もされてなかった、その原因は?	揖斐川本川については、戦後最大となる昭和50(1975)年8月洪水及び平成14(2002)年7月洪水と同規模の講じが発生しても、安全に流下させることを目標とし、支川での河川整備については、近年の洪水発生状況や、本川とのバランス等を考慮し実施していきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	本巢会場	計画高水位5.33mに対し整備達成度は50%位と聞いておりますが後何年計画で整備されるのでしょうか。	戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させる目標に対し、河川整備の効果の発現に必要な期間として概ね30年間としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	計画期間が20～30年との説明があったが30年と設定した理由又は整備水準をこの程度にしたのは何故か、全国的な水準なのか?上記2点について、補足説明があれば良かったのではないかと思います	河川整備計画原案(案)で定める整備内容の計画対象期間は、一連区間において河川整備の効果が発現させるために必要な期間とし、おおよそ計画策定時から20～30年程度を一つの目安とすることとなっていることから、木曽川水系では30年とさせて頂きました。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	長良川流域の居住人口や試算集積は木曽川と比較しても違いは少ない、治水安全度の向上を図る対策を最重要なこととする(位置付け)	貴重なご意見ありがとうございます。整備計画原案(案)においては、本支川のバランス、上下流のバランス、左右岸バランス等を考慮しながら計画的に実施していき、長良川については、計画規模を上回る洪水が発生した時の被害軽減対策を含め、ソフト・ハード一体となった対策を実施していくとともに、将来的には基本方針(案)を踏まえた対策を推進していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	最近の雨の降り方は熱帯化していて今後さらに進む過去の実質は見直す必要があると思う、後手に廻らないように数値は引き上げてほしい	計画策定のための基礎データの対象はできるだけ近年のデータも含め検討するよう努めております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	近年の異常気象は、過去の経験則を超える水害を引き起こす恐れあり、財政上の制約あるが地域の安全安心の観点から目標流量の引き上げを望む	当面の整備計画原案(案)の目標として戦後最大洪水を設定しています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	近年の洪水を目標とするのが分かりやすいと思うが、公共事業が抑制基調の中で今後の投資規制の想定があって初めて妥当目標設定ができるのではない。上記のみでは判断できない。	本河川整備計画原案(案)は、現時点の流域における社会経済状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定したものであり、策定後のこれらの変化や新たな知見、技術の進歩等により、対象期間であっても必要に応じて適宜見直しを行うこととしています。	第2章第2節 整備計画対象期間
第2回ふれあい懇談会	桑名会場	当面30年の計画だと、何年くらいの確率を目標にしたの整備を行うことになるのか。全国の河川についても、同じ様な考えで目標(戦後最大)を設定しているのか。	戦後最大規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。整備計画原案(案)の目標として同じような考え方をしている河川は多いと聞いています。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	河川の治水は、これからは異常気象に対応していかなければならず、30年の計画ではその優先順位が重要な課題となる。	河川整備計画原案(案)で定める整備内容の計画対象期間は、一連区間において河川整備の効果を発現させるために必要な期間とし、おおよそ計画策定時から20～30年程度を一つの目安とすることとなっていることから、木曽川水系では30年とさせて頂きました。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	防水・川の災害等、川の土木にこれ以上金をかけなくてよい。そんな金があれば福祉に金をかけろ！それにより災害に遭ってもよい。こんな立派なパンフなど不用、税金のムダ。	貴重なご意見ありがとうございます。 木曽川、長良川、揖斐川とも整備計画原案(案)の目標として、各河川の戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化等を実施していきます。河川の整備にあたっては、費用と河川整備により得られる効果・影響を考慮して計画的に実施していきます。ご理解願います。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	上流部からの土砂流出の対策として、治山の計画はどのようにになっているのか教えてほしい	森林の果たす土砂流出防止効果は大変重要であると考えております。	第1章第2節第4項 河川維持管理の現状と課題
第1回ふれあい懇談会	安八会場	上流から下流までトータル的な治水計画	貴重なご意見ありがとうございます。 河川整備計画原案(案)においては、本支川のバランス、上下流のバランス、左右岸バランス等を考慮しながら計画的に実施していきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	今後は脱ダム方向で。	この度の河川整備計画原案(案)では、ダム建設は、「新丸山ダム」だけとなっています。 なお、治水事業の第1の目的は洪水時の水位を低下させることに有ります、今後も各河川の状況、自然状況などを勘案し、各種の整備方法からより住民の皆様にご理解いただける整備方法を提案させていただきたいと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	水害のない安心して住めるように整備してもらいたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	30年の計画というが、10年以内に完成するよう取り組んでほしい。	河川整備計画原案(案)は、「木曽川水系河川整備基本方針」に基づいた当面の河川整備を目標とするものであり、河川整備計画原案(案)における整備目標に対し河川整備の効果を発現させるために必要な期間として概ね30年としています。	第2章第2節 整備計画対象期間

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	堤防の高さはどれくらいを目標にしているのか知りたい。	将来的には、整備基本計画流量を安全に流下させる事のできる高さ目標としますが、当面30年間の目標として戦後最大の洪水規模を目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	その目標のために何をどうするかははっきりさせてほしい。	河川の計画においても、各地域と特性を踏まえつつ計画を検討しています。治水に係る整備の目標等については、河川整備計画原案(案)では右記記載箇所のとおり考えております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	整備計画の目標をはっきりすべき。	河川の計画においても、各地域と特性を踏まえつつ計画を検討しています。治水に係る整備の目標等については、河川整備計画原案(案)では右記記載箇所のとおり考えております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	公園整備より、景観より、安心安全にお金を使ってほしい。この地域は、水害以前の堤防により木曾川については安心してはいますが、加茂川については不安が残ります。他地域でも大雨による洪水による被害のニュースを見ると心が痛みます。いろいろなレベルの要望があると思いますが、一番身近なもの、川の近くに住む人々が安心して暮らせる河川整備を希望します。それがこの地域だけでなく、全国でなされてほしい。	木曾川は戦後最大洪水(昭和58年9月洪水)と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。これらの流量をもとに現堤防を基本に計画洪水位を定めています。加茂川につきましては、いただいたご意見を河川管理者の岐阜県に伝えます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	多度会場	かつてこの地区は、13号台風、7号台風、伊勢湾台風の3度にわたり大洪水(高潮)で恐ろしい思いをしている。洪水が起きないようにしてほしい。	いただいたご意見は、河川整備計画原案(案)に反映しています。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	水害のない安全な河川として整備される様に希望します。(昭和51年9月12日災害後は河川の整備が進みました。)水防団の活動に感謝したい。	貴重なご意見ありがとうございます。本河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大洪水を安全に流下させることを目的に整備してまいります。また、水防団とは連携をとってまいります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	江南会場	木曾川は水源が木曾川と飛騨川に別れているので(両河川域で一度に雨が降るのは少ないと思います)あまり心配はないと思いますが、長良、揖斐川では河川の長さも短いですし最近の雨の降り方を見ますと揖斐山系、奥美濃山系で雨量が多くなっている傾向がある為堤防等の補強が必要だと思います。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	可児会場	河川の氾濫や堤防の決壊を防ぐような安全な構造を望みます。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	予算との兼ね合いもあるが、住民や公共財産に被害を及ぼさない安全性が望まれる。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	大雨による増水のため災害を最低限防ぐ努力してほしい。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	Q5と同じで水利権の問題があり難題だと思うが、今後水害が起きない対処を望む。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	瑞穂会場	大雨、台風時等に水害がなく安全であるように常に対策を講じて行く必要がある。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	安八会場	物理的に治水対策がとられていても、上流の雨量、降り続く期間等によっては危険が予想される。その辺のゆとりを持った運営にあたってほしい。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大野会場	10年に一度とかの豪雨に耐える治水の安全対策をお願いします。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	水害の無い安全な川が一番!!	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	水害の無い河川に	貴重なご意見ありがとうございます。 今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	スーパー伊勢湾台風の襲来がいわれてます。笠松区域のところは非常に狭小区間です。だから、狭いところ、堤防の弱いところ、局部的に堤防が完成されていないところは、今後治水に備えて、ますます大きな目でいろんな検討をしてほしい。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	弥富会場	過去に自然災害の恐ろしさを体験してたが、今では生活上では水の不自由さ、不便さを感じることなく安心して過ごしており、感謝している。	貴重なご意見ありがとうございます。今後とも、皆様に安心して生活していただけるよう努めてまいります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	近年木曾川水系には上流にいくつかのダムが出来、集中豪雨になってのダムで水量調節の出来るようになり、現状では安心しておれるようになった。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	安八会場	水位観測所にかかわって計画高水位等で動きが決められているが山林の環境、遊水地の埋立等による環境の変化が著しい現在、流れの絶対量が増え計画の枠を越える場合が多くなるのではないかと心配である。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	目的※木曾川における安全・安心で自然豊かな川づくり A. 基本は治水・利水である。 地球環境変化に早急に対応が必要 ・スーパー台風の襲来(東海豪雨以上の恐れ) ①狭小部分対策 ②堤防局部的弱点ヶ所(高さ・強度) ③水衝部 ④高盛土部	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 第3節 河川整備計画の目標
第1回ふれあい懇談会	瑞穂会場	出来るだけ自然を残しながら、災害対策を考慮し、廃棄物もない美しい河川を維持していきたい。	河川整備計画原案(案)において、河川の整備にあたっては、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮し推進して行くこととしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐南・笠松会場(共同開催)	我々子供心に昔は木曾川の堤防が決潰すると心配されたが護岸工事、土砂等の採取により水流が良くなり木曾三川の治水も完備された	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	岐南・笠松会場(共同開催)	堤防整備が進められていると思いました。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大垣会場	杭瀬川の堤防強化について 川巾、強度、美観、大変良いと思えました。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。杭瀬川につきましては、順次改修を進めてまいります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	木曾川の堤防は完璧！！今回の増水跡を見ても、堤防がなかったら災害になっていたと思う。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	58年に坂祝に来てすぐ水害に遭いました。水の恐ろしさを知りました。今は堤防ができ、水量計で危険を知ることができ安心です。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	犬山会場	近年というより今月も激しい降雨があり、予想以上の降雨で水害が引き起こされているニュースを見聞きする時、この周辺についてはかなりの整備がなされていることを思います。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	北方会場	昔は大水で、大変でしたが今日見た所の下のほうに大工事がしてもらっているのもう水害については安心して暮せるなどと思いました。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	山・林・田畑に昔のように水をためる力がなくなっています。また、宅地・工場・商業施設・道路等の開発により雨水が河川に早く流れ込むような仕組みになっているかと思えます。これらの雨水を調整して河川の増水を遅くする方法はありませんか。	貴重なご意見ありがとうございます。流域内の保水機能の確保につきましては、重要な課題であると認識しており、今後も関係機関と連携し保水機能の保全を図ってまいります。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	江南会場	災害は忘れた時に来るたえがあります。日頃の治水の安全にきをつけていきたい。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	可児会場	やはり長良川河口堰を思う。幸いというべきか、当然というべきか水害が起こっていない。これは評価すべきである。台風のコースに助けられている部分もある。輪中地域の方が安心して住める様になったと思っているが、想定外が恐い。しかし、川を封じている事にどうしても不安感がある。橋でも橋脚のないものが良いと思っている。洪水警報の出ない世の中にぜひ実現して欲しい。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	可児会場	過去の歴史を見ても思いがけない災害が数多く発生している。危険箇所は事前に手を打っておいてほしい。危険箇所は住民が永年の生活経験から一番良く知っている。転ばぬ先の杖の諺のように災害が起きてからでは遅い。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	瑞穂会場	災害が起きてから、原因が想定外だったではダメ。困る。国交省、市行政担当者の方はよろしく。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	木曾三川の治水に関しては、過去の災害の経験から整備が進んでいると思う。	今回の河川整備計画原案(案)では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標としています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	大野会場	2.一昨日の10月(11月?)、時季はずれの大水が長良川(特に郡上、美濃)で発生。郡上市にある実家もあわやという所まで水がきた。想像をはるかに越えた水位で、90歳の老人も「こんな水は知らない」と言っていた。地球規模の異常気象で、今まで積み上げてきた常識的な計算式では間に合わない時となったのではないか。	地球温暖化にともなう課題については、右欄記載箇所に記載しています。なお、計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携して実施します。	第1章第2節第5項 新しい課題
アンケート	-	治水について勉強になった。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も河川行政にご協力お願いいたします。	第3章第1節第1項 4 危機管理対策
ハガキ	-	<木曾川における整備事業> 同河川は早くから改修事業が施され丸山ダム嵩上げ(17m)事業が早期完成をすることにより71km(今渡ダム)より下流においては治水事業が終了するのではないかと考えられます。	河川整備基本方針に示された将来計画に向けて段階的に安全度を向上する計画目標等により計画的に整備を進めていきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	<木曾川>S58.9.28洪水では大きな被害が可児、美濃加茂付近で起こりました。丸山ダムから上流の各ダムは、築造されてから年月が経過し、堆砂率が78%~75%に達しているダムも有ります。災害対策は丸山ダムだけで大丈夫と言えない感があります。 また、丸山ダムは、工事進行中ですが、出来上がり年度が先になります。その間の災害対策は万全でしょうか?最近、集中豪雨が多くなっています。安全無災害対策をお願いします。	木曾川については、戦後最大洪水の昭和58年9月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標に新丸山ダムの建設、樹木伐開及び堤防強化を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	私が水災害を間近にしたのは、昭和51年9月の長良川の決壊でした。当時私は中学生で友達と自転車で長良川をおもしろ半分で見に行きました。川の水の多さや流れ、濁り、そして浮遊物の多さにびっくりしました。 私の住んでいるところは羽島市の一番北の境川の堤防近くです。毎年のように雨が降り続けると境川に架かる橋は水没して柳津の方へ渡れなくなることはよくあり、あまり驚くことではありませんでした。しかしあの昭和51年9月の災害時は家の裏の堤防に地元の方が土嚢を積み始めました。水がいつもより増水し、堤防が危なくなったようでした。もし安八側の堤防が決壊しなくても、他のどこかの場所で決壊が発生したであろうと思われます。しかし現在は、境川の橋も架け替えられ、長良川の護岸工事や排水機場等の整備も長良川河口堰と伴いに進み、水害の少ない住み良い町となったことに感謝しています。	長良川については、戦後最大洪水となる昭和16年10月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を図っていきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	私の住んでいる所では長良川の増水は少なくなったと思います。揖斐川の増水が毎年あり不安です。	揖斐川については、戦後最大洪水となる昭和50年8月洪水及び平成14年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を図っていきます。	第3章第1節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
第1回ふれあい懇談会	可児会場	安心ができる川作り	本計画では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第3章第1節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
第1回ふれあい懇談会	可児会場	大洪水になった場合、民家側へ影響が発生すると考えられる	本計画では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第3章第1節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
第1回ふれあい懇談会	養老会場	徳山ダムを始めとする治水関連工事は着々と進んでおりますが輪中地帯に住む住民にとってはいつ来るかわからない水害におびえる日々を送らなければなりません。	揖斐川については、戦後最大洪水となる昭和50年8月洪水及び平成14年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を図っていきます。	第3章第1節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	可茂地区の整備はだいたい終わったようだが、それによる下流域の洪水は考えられないか？	木曾川については昭和58年8月洪水と同規模の洪水に対し、計画高水位以下で安全に流下することを目標に新丸山整備を始め河川整備を実施していきます。 なお、河川整備にあたっては、上下流のバランスを見ながら事業を実施しています。	第3章第1節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	地球温暖化によるものと言われる集中豪雨が各所で多くなる傾向に有る。昭和51年豪雨により長良川の堤防が決壊している。木曾川用水史(水資源公団、昭和63年発行)を読みその重大さを再認識した。環境は大きく変化しており、あらゆるシミュレーションにより堤防補強整備事業の推進と抜本的な見直し態勢作りを進めてもらいたい。	貴重なご意見ありがとうございます。地球温暖化に伴う異常気象による洪水や渇水への対策を進めております。	第1章第2節第5項 新しい課題
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	木曾川のみならず美濃加茂地区に限定。治水、河川整備は良く整備されていると思う。但し、木曾三川以外の河川については未整備の所もある様に思うが、具体的には分からない。	貴重なご意見ありがとうございます。河川の整備については、本支川及び上下流バランスを考慮するとともに、風土や景観、親水、動植物の生息・生育環境に配慮するなど総合的な視点で推進していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	美濃加茂市、坂祝側は以前の洪水時以降、大変よくなっています。	木曾川については、戦後最大洪水の昭和58年9月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標に新丸山ダムの建設、樹木伐開及び堤防強化を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	治水に関する参考資料が無いの？	河川整備計画原案(案)では治水については右欄記載とおりの整備内容となっています。	第1章第1節第2項 治水の沿革
第1回ふれあい懇談会	可児会場	公園・遊歩道を論じる前に、尻切れにならない堤防をしっかりと早急に整備していただきたいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。河川は多様な機能を持ち、人々に安らぎと憩いを与え、水利用を可能にします。このように、治水、環境、利水が全体として調和して、川らしい姿となるものと考え、このような目標で河川の整備を進めて参ります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第9回流域委員会	-	河川計画(事業)の基本は「治水」 【別紙意見書参照】	河川の整備は、治水・利水・環境が調和されながら達成されるよう、総合的な視点で実施することを考えております。	-
第1回ふれあい懇談会	揖斐川会場	非農家であり農業用に利水にあまり興味が無いが防災上では川が整備されて安心できる。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全に安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第1章第2節第1項 洪水、高潮等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	本来、川は自然の間々だった。景色の四季折々様々に変化し、その風情が心地よかった。人類はじめ魚や虫たち、さらには草木にも優しくなったのに……。でもまさに人間社会が自然破壊を平気でやっている。山を削りゴルフ場にした、道路をアスファルト化し、国・県道ならやむおえないが、農道のあぜ道までも手を加えている。現状この様なことが温暖化を助長したり、大雨が降れば鉄砲水。だから堤防を築いて治水整備しなければいけなくなってしまう。昭和58年9月28日私も未曾有の大洪水に遭い、築堤の恩恵は少なからず受けているのに……	貴重なご意見ありがとうございます。計画規模を上回る洪水等が発生した場合の被害を軽減するため、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を関係機関等と連携しながら推進します。	第1章第2節第5項 新しい課題
第1回ふれあい懇談会	神戸・池田会場(共同開催)	私の住んでいる所は揖斐川の近くに住んでいます。私の生まれる前には多くの河川の氾濫があったそうですが私が生まれてから50数年は何事もなく川は私の遊び場です。これからもそうであってほしいです。	貴重なご意見ありがとうございます。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。今後とも引き続き河川行政へのご理解ご協力をお願いします。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	先人の知恵に学ぶべし。例えば、洗堰なども、もう一度見直すべきではないでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	伊勢湾台風など子供の頃は堤防近くまで増水していたが、青少年グラウンド等の整備により、危険性が少なくなったような気がします。国土交通省の努力に感謝しております。	貴重なご意見ありがとうございます。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	江南会場	現在の状態でよいと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	安八会場	現状のままでよいです。	貴重なご意見ありがとうございます。河川整備にあたっては、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和されながら達成されるよう努めるとともに、今後も引き続き、適正な河川管理に努めます。	第1章 流域及び河川の現状と課題

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第2回ふれあい懇談会	岐阜会場	環境の目標設定で、揖斐川における連続性の回復は、30年後に完成させるのではなく、速やかに回復を急ぐことが、多自然川づくりの基本だと思います。目標の設定で、速やかに実施する目標と時間をかけて達成する目標とが分かるようにして頂きたいと思います。	河川整備の効果を発現させるために必要な期間として概ね30年間としています。ご理解願います。今後も、環境上の観点からも観察してまいります。	第2章第2節 整備計画対象期間
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	往時(具体的には昭和前半時代)回帰が望ましい。余り人工的は小細工は却って旨くないと思われるのです。	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。また、水質の改善、親水性の向上を図っていきます。流域との連携につきましては、関係機関と連携し進めてまいります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	低平な濃尾平野を流れる木曾三川の魚や動植物の生息環境の特性は、本川と支川および背後の広大な農地、農業用水路のつながりであることから、本川の河川環境の保全・再生に加えて、農業施設と連携して、取り組むという視点が重要であるので、記載されたい。	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。また、水質の改善、親水性の向上を図っていきます。流域との連携につきましては、関係機関と連携し進めてまいります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第2回ふれあい懇談会	大垣会場	河川環境の保全整備に「支川や農業用水路、農地なども連携した生物生息域の保全と再生」を追加すべき	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。また、水質の改善、親水性の向上を図っていきます。流域との連携につきましては、関係機関と連携し進めてまいります。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	自然という言葉をどう定義するのか、人間の手を入れるから自然なのか、入れずにほったらかしが自然なのかという、そこら辺をきちんと整理してほしい	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。また、水質の改善、親水性の向上を図っていきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第2回ふれあい懇談会	美濃加茂会場	環境の項目に合うか分かりませんが、「親水」と言われて久しくなります。親水環境の目標を取り入れた目標作りも一案かと思えます。	貴重なご意見ありがとうございます。良好な自然環境の保全を図りつつ、失われた又は劣化した環境の再生に努めるため、多自然川づくり、自然再生事業及び魚がすみやすい川づくりを一体的に実施していきます。また、水質の改善、親水性の向上を図っていきます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	これからの河川整備管理で地球温暖化防止に資するものは何かありますか？ぜひ見つけて取り組んでください。期待しています。難問と思いますがよろしく願います。	地球温暖化防止の観点からの記載はありませんが、第1章第2節第5項「新しい課題」として、地球温暖化に伴うとされる地球規模の気候変動と海面上昇等の問題について記載しております。	第1章第2節第5項 新しい課題
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	河川内樹林について安全なのか伐採なのか意見を聞く場を作ってほしいという意見に対して大賛成	河道内の樹木については、洪水の安全な流下に支障となる樹木、河川管理施設に影響を与えるもしくは河川巡視等に支障となる樹木について実施し、木曾川の樹木伐開の施工の場所については右欄記載箇所のとおり考えています。 なお、今後も樹木の状況をモニタリングを行い、必要に応じて対策を講じていきます。	第3章第1節第1項 1(1) 河道掘削・樹木伐開、第3章第2節第1項3(2) 樹木の維持管理
第1回ふれあい懇談会	輪之内会場	洗堰により長良川と揖斐川の水の行き来ができなくなっている。自然に流れるようにしてほしい。	長良川と揖斐川の水は、昔は繋がっていましたが、明治改修などによって、分流された歴史があります。いま2つの川をつなぐ事は困難であると考えます。ご理解下さい。	第1章第1節第2項 治水の沿革
第2回ふれあい懇談会	名古屋会場	源流域の山、森林、の上流域、中流域、下流域、河口というつながりのある、本来の川の生き生きとした姿を取り戻したい。水量はあっても生きていない川では困る。	貴重なご意見ありがとうございます。 流域状況として上流域に広大な森林が広がることを前提に計画を策定しております。 なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	日本第三の人口を持つこの地域にとっては、濃尾平野を作り出した三川として、常に大きな関心を持って対応しなければならないと思っている。万が一、洪水が起こればその影響は、創造の域を超えよう。 砂利などの採取が続き河川底が大きく下がったことと、長良川を除く木曾川・揖斐川では、利水目的でのダムなどの建設などの影響もあってか、現在では、極端な増水がないとも聞いているが、半世紀ほど前の川の状況と比較し、河川敷内の中州の成長に驚いている。 これら中州には、樹木が生い茂り川幅を狭くしている所も多く、大雨などの影響を考えると心配が募る。これら高水敷きの整備を進め、水害に対する安全度の向上と、公園化などの推進による環境が整備されることを希望する。	洪水対策としては、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標として、河道掘削や洪水調節施設等の水位対策を行っていきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第3回ふれあい懇談会	岐阜会場	直轄区間をもっと上流までにして、同じように工事をしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の河川行政の参考とさせていただきます。今すぐ管理区間を変更することは困難であると考えます。	第2章第1節 整備計画対象区間
アンケート	-	自然環境と維持管理の調節をよろしくお願ひしたい。	貴重なご意見ありがとうございます。 河川整備にあたっては、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和されながら達成されるよう努めるとともに、今後も引き続き、適正な河川管理に努めます。	第1章 流域及び河川の現状と課題
第1回ふれあい懇談会	南濃会場	近年、徳山ダムの完成を受けて(治水上の安全性が高まったと考え)、沿川住民は移転は無いものと考え、新築・増築を行っており、また、近隣住民同士の連帯感も深まっている。	貴重なご意見ありがとうございます。徳山ダムが完成したことにより、揖斐川における安全度は上がっていると考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	各務原会場	三川下流域に関しては近年水害等の被害も大したこともないと思われまます。 おおむね治水に関しては問題は無いと思っております。	本計画では、木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	揖斐川会場	揖斐川については、近年大水害もなくおおむね治水施策が有効に機能していると思います。	揖斐川については、戦後最大洪水となる昭和50年8月洪水及び平成14年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	桑名会場	伊勢湾台風後は、大きな水害もなく経過しているが、今後も私たちが安心して生活できるように堤防の整備や管理などを進めてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。今後とも、堤防の強化、維持管理に努めて参る所存です。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	多度会場	ヨシが生えるようになったということは、出水が少なくなったということの表れではないか。	河川整備計画原案(案)では、整備の目標については、右記記載箇所のとおり考えております。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第2回ふれあい懇談会	一宮会場	開発等に伴い流出が多くなるのではないか。	流域内において地域開発等に伴い都市化が進展した地域においては、河川への流出増大が懸念されることから、流域の保水・遊水機能を適切に確保することを奨励するなど、総合的な治水対策についても関係機関と連携・調整し実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

「多くのご意見をいただきましたので、現時点では河川管理者の考え方の記述に精粗がありますことをご容赦願います。」

意見をいただいた方法	開催場所	いただいたご意見	いただいたご意見に対する考え方	記載箇所
アンケート	-	安全であり続けることを願います。	貴重なご意見ありがとうございます。 木曾川、長良川、揖斐川とも戦後最大洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標
第1回ふれあい懇談会	美濃加茂・坂祝会場(共同開催)	治水に関しては、行き届いていると思う。	貴重なご意見ありがとうございます。木曾川水系はまだ完全な安全な河川では有りません。今回の河川整備計画原案(案)では、三川とも戦後最大の洪水を安全に流下させることを目的として整備することとしています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	稲沢会場	木曾川の河川改修計画があれば住民にわかりやすく公表をして欲しい。	今後も住民の皆様にご理解いただけるよう住民説明会や、広報紙などにより都度皆様にご説明申し上げていきたいと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	安八会場	全国で水の被害や山の決壊がある。山林含めて環境が変わってきている。計画高水位は机上の目安ではないのか。見直しとか考えているのか。	ご意見で指摘されている山林の環境の変化、またそれによる洪水流出との関連が具体的に示されておられず、ご意見の内容を特定できないため回答できないことをご理解願います。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	本巢会場	治水の根源は治山であると思う。保水力のある落葉広葉樹の森が切り拓かれ、保水力のない針葉樹の森に替えられ、その結果、鉄砲水による水害が増加している。それに追い打ちをかける形で、林業政策の失敗により間伐された針葉樹の間伐材が流れだし、水の流れをせき止め、水害の大きな原因となっている。今や水害は天災ではなく、人災であると思う。100年200年先を見込んだ政策でなければならない。机上の空論なら、小学生でも考える。大切なのは現場にたった足が地に着いた政策でなければ国民の幸福にはつながらない。	流域状況として上流域に森林があることを前提に計画を策定しております。 なお、ご意見については、河川管理者だけでは対応できる範囲等が限られておりますが、河川の整備を実施するにあたり、河川のみではなく、森林、農地、河川、水道、下水道、海等の様々な分野を総合的に捉えて関係機関との連携・調整をしなければいけないと考えています。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
アンケート	-	頑張って	貴重なご意見ありがとうございます。 今後も、治水、利水、環境というそれぞれの目的が調和しながら目標が達成されるよう総合的な視点で河川整備を実施していきます。	第2章 河川整備計画の目標に関する事項
第1回ふれあい懇談会	一宮会場	明治の時代に発表された地理学の本を読みましたが、人類が発展してきたのは、ほとんどが河川に沿ってその恵みにより現在に至っていることがよく理解できました。 河川の恩恵は当に時代を超越したものであり、必ず後世にも引き継がれることを信じます。故に河川のことを考える時時空世界の立場で取り組むことが大切であると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 河川は、肥沃な大地をもたらすと共に、ひとたび洪水となれば人の命も奪う物です。今後も住民の皆様が愛される、安全で自然豊かな河川を求めて整備してまいります。	第2章第3節第2項 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
第1回ふれあい懇談会	岐阜会場	長良橋を改修してほしい。 治水安全度をあげ自然景観にふさわしいものに。	長良橋は、現在目標としている戦後最大洪水では、流下能力が有りますので河川整備計画原案(案)には反映していません。 いただいたご意見は、橋梁管理者である岐阜県に伝えます。	第2章第3節 河川整備計画の目標
アンケート	-	治水	貴重なご意見ありがとうございます。 木曾川、長良川、揖斐川とも河川整備計画原案(案)の目標として、各河川の戦後最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、水位低下対策や堤防強化等を実施していきます。	第2章第3節第1項 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標